

令和7年度第1回広陵町男女共同活躍推進作業部会 議論内容報告書

(会議日)令和7年8月18日(月) 午後3時30分から午後5時まで

(場 所)役場3階 第一委員会室

(出席者)部会員7人、事務局ほか5人

防災における男女共同参画の推進について(ワークショップ)

<テーマ1> 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進について

【1班】

- ・備蓄品選定の際は、子育てや介護経験者の声を聞いたり、ロゴフォーム等を活用して全職員に問いかけたり、幅広い意見を取り入れられるようにする。意見聴取の結果、必要優先順位をつけるのが難しい場合は、有識者を交えた検討会を実施してはどうか。

【2班】

- ・備蓄品について、防災の基本は自助であることから、まずは家庭で何が必要かを話し合う機会を作る。

	①課題	②対処法	③具体的な方法
1班	・備蓄品の必要物資の把握認識が男女で変わる ・液体ミルクの備蓄(災害時の育児負担軽減、育児分担)	・男女の割合を整えて、必要品を揃えていく ・備蓄品を選定するのは一職員の独断となっている様子…女性が助言できる機会を	・子育て世帯、介護経験のある人の声を聞く(まずは職員?)。 ・ロゴフォーム等を使用し、全職員に備蓄品について問いかける。 →活かすために有識者を交えた検討会
2班	危険箇所の共有	共有の場を作る	防災訓練で場を作る
	・防災備蓄品の不足 ・衛生用品の備蓄の不足	・必要な物の確認 ・家庭での備蓄品の周知	みんなで話し合って、備蓄品リストを作る
	プライバシーの保護	プライバシーへの配慮	個室の確保(例:テント?)
	快適な環境の違い(温度等、個人差がある)		
	子ども情報把握		
	防災訓練の参加		

<テーマ2> 防災分野への女性の参画推進について

【1班】

- ・会議開催時間の見直しやオンライン開催、家庭内の家事分担等の見直しにより、女性が参画しやすい環境をつくる必要がある。
- ・災害対応＝力仕事というイメージがあるため、男性の役割だと思われがち。防災士の活動内容の周知やするとともに、災害対応にはどのようなものがあるかを整理し、自分たちにもできる防災活動があるのだと認識してもらう。

【2班】

- ・地域の女性役員の増加に応じて補助金を増額する。
- ・防災士有資格者は町内での買い物が〇%OFF になる等のインセンティブを与える。
- ・防災担当部署に女性管理職の配置を推進する。

	①課題	②対処法	③具体的な方法
1班	・防災対策の意見交換における女性の参加機会 ・防災会議に出席する女性を増やす	・全世代が参加しやすい機会、時間設定 ・会議時間の短縮 ・女性が社会参加しやすい環境を作る。家庭内の家事分担など	オンライン講習会
	・防災士の知名度 ・(女性)防災士増加 ・防災に対する意識について ・代表＝男性の風潮 ・女性の潜在的な可能性(災害対応＝力仕事だけではない)	・防災士の活動内容の周知 ・女性、男性両性の考え方、意見の重要性を説明、参加を促す。 ・役割分担の明確化	・広報、HP、公式 LINE で周知 ・必要な役割を知らせ、我々も協力できるのではと思ってもらう
2班	自治会活動に女性が参加しない、できない	女性の自治会参加について啓発する	女性役員増に応じて補助金を増やす
	防災士に対する女性の認識不足	・防災士のPR強化 ・家で活かせる知識が増えるとPR	防災士になると町内の店で〇%OFF
	防災部署に女性管理職がない	配置を推進する	